

安全データシート(SDS)

作成日 2005年5月16日

改定日 2014年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名: **アポリーC300** (Aporry C300)
会社名: 三愛石油株式会社
化学品事業部 化学品部 品質保証課
住所: 東京都品川区東大井5-22-5
電話番号: 03-5479-3121
FAX番号: 03-5479-3375

製品の用途: 業務用粉末アルカリ性洗剤
整理番号: AP-02

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性: 分類対象外、分類できないまたは区分外
労働安全衛生法 通知対象物質 No.319 水酸化ナトリウム 約75wt%

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分3
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	区分1
金属腐食	区分1

環境に対する有害性: 分類できない

*上記に記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:	危険	H code
危険有害性情報:	・金属腐食のおそれ	(H290)
	・飲み込むと有害	(H301)
	・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	(H314)
	・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	(H318)

注意書き:

[安全対策]

- ・他の容器に移し替えないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
- ・取扱い後は、うがいをして、手、顔などをよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時には、適切な個人用保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)及び作業衣を着用すること。

[応急措置]

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理して吐かせないこと。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- ・皮膚(または髪)に付いた場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。/ 取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・物的被害を防止するため流出したものを吸収すること。

[保管]

- ・耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・内容物及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分:	混合物
化学名または一般名:	水酸化ナトリウム(75%)
CAS No.:	1310-73-2
官報公示整理番号(化審法):	(1)-410
含有量:	水酸化ナトリウム(75%)他

4. 応急措置

- 吸入した場合: ・粉じんやミストを吸い込んだ時は、直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: ・直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。何らかの異常を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合: ・直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合: ・無理に吐かせずに速やかに医師の手当てを受けること。
・意識がない場合には、無理に水を飲ませないこと。

***いずれの場合においても直ちに医師の診断を受けること。**

5. 火災時の措置

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 消火剤: | ・水/泡消火薬剤/粉末消火剤/炭酸ガス |
| 使ってはならない消火剤: | ・棒状の水による消火 |
| 特有の有害危険性: | ・知見なし |
| 特有の消火方法: | ・消火作業は風上から行う。
・容器を放水により冷却する。 |
| 消火を行う者の保護: | ・消火作業の際は、風上から行き、必ず防災保護具を着用する。 |
-

6. 漏出時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 人体に対する注意事項: | ・漏出時の処理を行う際には必ず保護具を着用する。
・必要に応じた換気を確保する。
・着火した場合に備えて、消火器材を準備する。
・多量の場合、人を安全な場所に避難させる。 |
| 環境に対する注意事項: | ・漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 |
| 回収、中和の方法: | ・多量の場合には可能な限りせき止めし、ポンプなどで回収する。
・砂・ウエス等で吸収させ密封容器に回収する。
・少量の場合には砂・ウエス等で吸収させ、密封容器に回収する。 |
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | |
|------------|--|
| 技術的対策: | ・皮膚、眼へのばく露防止のため、長袖の作業衣を着用し、適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を装着する。
・製品のみスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・製品は漏れ、あふれ、飛散しないよう注意して取扱う。
・溶解時は発熱し火傷の恐れがあるので攪拌しながら少しずつ入れる。
・使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。
・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
・誤飲等事故の恐れがあるので、食品用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
・アルミ製、銅合金製の物品の洗浄、接液を避ける。
・取扱い後にうがいをし、手、顔などをよく洗う。
・製品の容器は、転倒、落下、衝撃、引きずりなどの乱暴な取扱いはしない。 |
| 局所排気、全体換気: | ・8.ばく露防止及び保護装置を参照。 |

保管

- | | |
|---------|---|
| 保管条件: | ・使用の都度、容器を密閉する。
・密閉容器に入れて保管する。
・高温、スパーク、火炎を避けて保管する。
・容器は、施錠した換気の良い冷暗所に、一定の場所を定めて保管する。
・製品の品質保護のため、0℃以下または40℃以上になる場所や雨水、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所には保管しない。 |
| 容器包装材料: | ・空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。
・容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。 |

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:

許容濃度	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学 会、2010年度版)	ACGIH(2010) TWA
鉍油	設定されていない	3mg/m ³ (ミストとして)	5mg/m ³ (ミストとして)

設備対策:

・換気設備又は局所排気設備を用いる。

保護具

呼吸器の保護具:

・呼吸用保護具を着用する。

手の保護具:

・皮膚への接触を避けられる保護手袋を着用する。

眼の保護具:

・ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用する。

皮膚、身体の保護具:

・皮膚への接触を避けられる耐薬品性の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観:	白色～黄色粉末
臭い:	わずかに特異臭あり
pH:	13.0以上(1%、25℃)
融点・凝固点:	データなし
沸点・初留点:	データなし
引火点:	なし
自然発火温度:	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重(嵩密度):	データなし
溶解度:	水に溶解する
オクタノール／水分配係数:	データなし
分解温度:	データなし
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	・吸湿性が強く、空気中の水分のみならず二酸化炭素などのガスを吸収しやすい。
危険有害可能性:	・酸性物質とはんのうし中和熱を発生する。
避けるべき条件:	・酸性物質との接触、40℃以上の高温化での保管、直射日光下、開放状態
混触危険物質:	・アルミニウム、すず、亜鉛、銅、銅合金などの金属、漆器
危険有害な分解生成物:	・特になし

11. 有害性情報

別紙参照

12. 環境影響情報

生態毒性:	・別紙参照
残留性・分解性:	・COD:88ppm(0.1%水溶液)
生体蓄積性:	・アルカリ性であるため、留出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。
他の有害影響:	・データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	・おがくず・珪藻土などに吸収させて法規に基づき、行政が認定した焼却炉で少量ずつ焼却する。
汚染容器および包装:	・取扱いについては、「7.取扱い及び保管上の注意」を参照。 ・内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者等に処分を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制

- | | |
|----------|---|
| 陸上規制情報: | ・労働安全衛生法、消防法等に定められている輸送方法に従う。 |
| 海上規制情報: | ・船舶安全法に定められている輸送方法に従う。 |
| 航空規制情報: | ・航空法に定められている輸送方法に従う。 |
| 特別の安全対策: | ・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。 |

国際規制

- | | |
|-------|------|
| 国連番号: | ・非該当 |
| 国連分類: | ・非該当 |
| 容器等級: | ・非該当 |
-

15. 適用法令

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 消防法: | ・非該当 |
| 労働安全衛生法: | ・通知対象物質 No.319 水酸化ナトリウム(約75wt%) |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法): | ・非該当 |
| 毒物及び劇物取締法: | ・劇物 No.319 水酸化ナトリウム(約75wt%) |
| 化審法: | ・非該当 |
| 船舶安全法: | ・該当 腐食性物質 |
| 海洋汚染防止法: | ・非該当(但し、液体の場合は有害液体物質Y類に該当) |
| 下水道法: | ・非該当 |
| 水質汚濁防止法: | ・該当 水酸化ナトリウム(特別管理産業廃棄物) |
-

16. その他の情報

参考文献

1. 国連GHS文書 改定3版 (2009)
2. JIS Z 7252:2009 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
3. JIS Z 7253:2012 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
4. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ
5. 化学工業日報社「15107の化学商品」(2007)
6. 弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

* 注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

別紙
有害性情報の詳細

GHS区分	分類	分類の根拠
急性毒性(経口)	区分3	LD ₅₀ :300mg/kg未満(AETmix)
急性毒性(経皮)	分類できない	データなし
急性毒性(吸入)	分類できない	データなし
皮膚腐食性/刺激性	区分1	強い刺激作用がある。
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分1	激しい痛みを感じ、結膜や角膜が侵される。
呼吸器感作性	分類できない	データなし
皮膚感作性	分類できない	データなし
生殖細胞変異原性	分類できない	データなし
発がん性	分類できない	データなし
生態毒性	分類できない	データなし
特定標的臓器(単回ばく露)	分類できない	データなし
特定標的臓器(反復ばく露)	分類できない	データなし
吸引性呼吸器有害性	分類できない	データなし
水生環境有害性(急性)	分類できない	データなし
水生環境有害性(長期間)	分類できない	データなし
オゾン層への有害性	分類できない	モントリオール議定書の附属書に記載されている化学物質を含まないため、分類できないとした。